商工会議所報むつ

平成十四年、会頭年頭の挨拶

むつ商工会議所　会頭　鷹架武一

平成十四年の年頭にあたり、地域住民並びに商工業者の皆様に、新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、年末に皇太子様ご夫妻に敬宮愛子内親王殿下が誕生されましたが、まずもって市民の皆様と共に謹んでお慶び申し上げたいと存じます。この国民的慶事がやや沈みがちな昨今の世情に、明るさを与えるものとなりますよう期待するところであります。

さて、新世紀二年目の新春を迎えましたが、昨年は前世紀から引き継いだ経済の低迷と閉塞感が解消されず、期待を集めて誕生した小泉内閣も大きな成果を上げることができず、悪戦苦闘のまま越年となりました。

今年は小泉内閣の構造改革と不良債権処理、経済運営が、その真価を問われる年になりそうでありますが、同時にまた、日本の政治、経済、社会にとりまして、試練の始まりの年になるものと予測されますし、地域においても、市町村合併をはじめ様々な分野で変革を求められて参ります。古今の政治、経済、社会が五、六十年をスパンに激変を重ねてきた事実、それは明日の読めない過渡期の時代にあることを、私共はこの際理解をしておく必要があろうと考えます。

このような現状認識のもと、むつ商工会議所は、地域の中核的経済団体として、その使命と役割を深く認識し、行動し役立つ商工会議所、開かれた商工会議所を基本目標に、迅速・積極を理念として、先導的役割を果たして参る決意であります。特に商工会議所の業務の第一に掲げられている意見の公表及び、要望建議活動に力を入れ、重要課題については世論形成の一翼を担って参ります。

さて、現在私共の目前には様々な課題や問題が山積しております。即ち、喫緊の課題である不況への対応をはじめ、基本計画完成に伴う中心市街地活性化の具体的推進、かねてからの懸案である産業会館建設への取り組み、今年十二月にせまりました新幹線八戸駅開業への対応、中間貯蔵施設の安全性と経済効果等の調査に基づく、経済団体としての対応方針の明確化、道路特定財源の見直し等で懸念が生じている下北半島縦貫道路の早期完成、及び宇曽利工区の工事の推進、時代の要請となりました市町村の合併問題、鋭意取り組んで参りましたＩＴ化のより一層の推進、イベントや観光振興等による地域の活性化、指揮指導体制強化のための副会頭三名体制の確立などであります。それぞれについて積極的な取り組みをして参りますが、中でも当面の最重要課題は、不況への対応であります。

最近の政府の経済報告は、景気は一段と悪化していると述べておりますが、日経新聞は、つるべ落としの悪化とその深刻さを報じており、ＯＥＣＤ（経済協力開発機構）は、日本経済について、重大な減退局面と報告しております。過去最悪の失業率、高い発生が続く企業倒産、鉱工業生産の激減、輸出の減少、建設工事及び、公共工事受注の落ち込みも続き、政府は今年度の経済成長率を当初見込みの一・七％から、マイナス〇・九％に下方修正しました。世界の景気に最も影響のあるアメリカ経済が十年に及ぶ好景気に幕を閉じ、世界経済が同時減速を続ける中、同時多発テロの影響も加わり、我が国の景気の先行きは、きわめて不透明な事態に遭遇しております。末端の当地域の経済も、特に公共工事の激減の影響が全般的に波及している外、各業種共おしなべて受注、売上の減少に悩み、資金繰りも苦しく、今未曽有の経営危機に直面しつつあると申しても過言ではありません。

この難局にあたり、商工会議所は、まず徹底した経営指導による経営改善と倒産の予防、信用保証協会、各金融機関のご協力による金融対策に総力をあげておりまして、年末には信用保証協会、各金融機関の支店長による懇談会を開催し特段のご配慮をお願いしたところであります。更に、この現状で速効的な対策は、地元発注の確保及び地元消費の拡大であります。年末、関係方面を巡回し、ご協力をお願いしましたが、大湊地方総監部をはじめとする国の各機関、むつ土木事務所等の県各機関、むつ市御当局、電力各社をはじめ企業の皆様には、景気の現状をご理解くださいまして、地元発注について格別のご配慮を賜わりたい次第であります。このことにつきましては、近く発注懇談会を発足させたい考えであります。又、市民の皆様方にも、出来るだけ地元でお買い物をして頂きますよう伏してお願い申し上げます。更に地域経済活性化については、むつ下北地区コンベンション誘致推進協議会を主体に各種大会、総会等の誘致をはじめ観光の振興、イベントの展開などあらゆる手立をつくして参りますが、公共工事依存体質の強い当地域の経済にとりまして、何らかのカンフル剤の投与が待たれるところであります。尚、一時中止した大間原子力発電所計画の、準備工事が再開されましたことは経済団体として朗報と受け止めております が、地元商工会とも連携し、地域への受発注及び、本工事の早期着手について要望をして参ります。

不況対策の外、各課題、諸問題につきましても取り組みを強化して参りますが、特に中間貯蔵施設の問題については、日本商工会議所が原子力エネルギー推進の基本姿勢をとっていることも念頭に、その安全性と経済効果等について十分に精査し、対応方針を明確化したい考えであります。地域の課題について、総合的判断のもと、的確な意見を公表することも商工会議所に課せられた重要な役割であります。

新幹線八戸駅開業への対応については、引き続き大湊・八戸間の直通快速便の運行について、関係団体、むつ市、地元選出県議会議員等と連携し、要望を重ねてまいります。又、今後は地域に取りまして、利便性の高いダイヤの確保についても、合わせて要望して参ります。更に、新幹線八戸駅開業に伴い、下北地区への観光客の増大も見込まれることから、この受け入れ態勢整備の問題を当商工会議所産業政策委員会に付託し、急ぎ検討させると共に総合的対応を図ることにしました。新幹線八戸駅開業の効果を最大限引き出し、地域振興に結びつけたい考えであります。

中心市街地活性化については、いよいよ具体化に向けた取り組みに着手しますが、むつ市をはじめ、商店街、地域住民の皆様のご理解とご協力を心からお願い致します。副会頭を一名増やし、三人体制による指揮指導体制の強化については、諸問題山積の折柄、その必要性を痛感しておりまして、早急に会員の増強計画等の要件を整備し、国の内諾を得たうえ、一日も早く議員総会に諮りたい考えであります。商工業者の皆様のご理解を賜わりたいと存じます。

さて、今時代はスピーディーに動き、急速に変化をしております。この時代の流れに敏感に反応しながら、新しい歴史を築いていかねばなりません。商工会議所の使命は、企業の自助努力の支援、地域の振興及び福祉の向上であります。私は過年十一月再び会頭の職を承りましたが、設立の原点に思いを致しつつ、行政と連携を密に、スピードを重視しながら、臨機応変に事業の展開に努め、使命を果たして参る覚悟であります。願わくはこの新年が希望のもてる明るい年となりますよう、皆様と共に努力をして参りたいと念願しております。

終わりに、地域住民並びに商工業者の皆様方の、益々のご繁栄とご多幸を祈念致しますと共に、併せて、より一層のご支援ご協力を心からお願い申し上げまして、念頭のご挨拶と致します。

〒035-0071
むつ市小川町二丁目11－4
むつ商工会議所
電　話 0175-22-2281
ＦＡＸ 0175-22-0167
E-mail:somu@mutsucci.or.jp
URL http://www.mutsucci.or.jp/

年頭所感

日本商工会議所　会頭　山口信夫

平成十四年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

最近のわが国の経済は、米国における同時テロ事件により世界同時不況を招く懸念が高まるなか、輸出が減少し、国内の生産、設備投資が落ち込むなど、極めて深刻な状況にあります。加えて、雇用情勢は厳しさを増し、個人消費も弱含んでおります。

こうした厳しい経済状況の中、小泉内閣において「聖域なき構造改革」が進められつつあります。構造改革は日本経済を再び持続的な成長路線に戻すために不可欠であることは充分認識しており、われわれ商工会議所も率先して推進する気概をもって支援したいと存じております。しかしながら、現下の経済情勢の下で財政再建に軸足を置いて改革を進めようとすれば、景気はますます落ち込み、経済再生のコストもかさみ、構造改革自体の推進が困難になるとともに、苦境の中、懸命に経営努力を続ける意欲ある中小企業まで存続の危機に追い込み、結果として、わが国経済のダイナミズムを喪失しかねない恐れがあると存じます。

過去においても、また国の内外においても、不景気の中での構造改革は成功したためしはありません。したがって、改革を成功に導くためにも、まず景気回復を図り経済を安定させることが肝要であると考えます。今、政府に是非ともお願いしたいことは、構造改革の方針の下で、緊急性の高いものから手掛けるとともに、これを支えるための大胆な景気浮揚策を講じることであります。同時に、わが国経済の基礎を担う中小企業が本来有する創造性、起動力を発揮できるよう、また経営者が元気を取り戻せるように、金融・税制・事業支援制度などの拡充に万全を期すことがあると考えます。

申し上げるまでもなく、中小企業が活力を取り戻すことなくして、今後のわが国経済の発展はあり得ません。中長期的な視点に立って、新規創業支援をはじめ、中小企業が経営革新に積極的に取り組み、新しい分野や前向きの投資、技術開発に果敢に挑戦できるよう、潜在力を持ち意欲のある中小企業を大いに伸ばすための施策を重点的に実施することが重要であります。われわれ商工会議所としても、新規創業や中小企業の経営革新の支援に全力を挙げて取り組みたいと存じます。また、今後は、他の中小企業関係団体との連携を一層強化して、中小企業のための政策実現に向けて全力を挙げて取り組んでいく所存であります。

数十年に一度というべき大変革期に際し、地域総合経済団体である商工会議所に課せられた使命と役割はますます大きくなってきております。そのため、商工会議所は多くの会員のエネルギーをパワーに転換して、これまで以上に影響力を発揮する新しい運動体としての機能を高め、地域再生のために従来以上に中核的な存在としての役割を果たしていかなければなりません。こうした観点から、日本商工会議所は昨年十一月に全国商工会議所役員・議員大会を開催し、商工会議所活動の中枢を担う議員の活動方針を示した議員憲章を採択し、役員・議員相互の連帯感を高めるとともに、商工会議所の役割を再認識したところであります。

以上、年頭に当たり所懐の一端を述べましたが、今日の難局を克服するには、全国五二六の商工会議所が一丸となって立ち向かう必要があり、「健康な日本」の創造に向けて取り組んでいまりたいと存じますので、皆様の一層のご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。

むつ商工会議所常設４委員会委員を委嘱

当所は、去る十二月十一日に開催しました第二十六回常議員会において、常設であります、総務財政委員会、産業政策委員会、商業振興委員会、国際・情報化委員会の四つの委員会の委員長、副委員長、委員を指名委嘱することに決定しました。

各委員の方々には、今後三年間にわたり当所の諸問題に関し、調査研究をしていただくことになります。また、去る十二月二十一日には、四つの委員会の委員長に対し、委嘱状の交付を行うとともに、各委員会に対し、調査研究課題を提示いたしました。

主な調査研究課題では、来る平成十四年十二月に東北新幹線八戸駅が開業することに対する対応については、産業政策委員会に、中心市街地活性化問題及び原発の受発注問題については商業振興委員会にそれぞれ付託いたしました。

特に新幹線開業に係ることについては、重要であるとの認識のもと、定期的に各委員長及び各部会長が意見交換すること

４委員会委員名簿　平成１３年１１月１７日～平成１６年１１月１６日

	総務財政委員会	産業政策委員会	商業振興委員会	国際情報化委員会
委員長	白濱啓助	山本文三	橋本春治	藤林吉明
副委員長	八戸信一	橋本裕一	大見義明	橋立清澄
〃	山内隆	木村正勝	南谷信廣	品木高志
委員	北川市蔵	住吉明夫	渡邊正弘	前田恵三
〃	橋本春治	新谷和夫	小野哲行	杉山幹彦
〃	中新鐵男	平山博道	高橋俊夫	三国俊美
〃	角本幸太郎	佐藤文一	祐川清人	磯沼睦夫
〃		斎藤俊孝	菊池憲太郎	

Shimokita 2002 Winter

冬の下北半島「食の祭典」開催

会　期　平成14年　２月２日（土）　３日（日）　10：30～15：30（３日は10：00開場）

会　場　むつグランドホテル　１Ｆ「天翔」

内　容
食に関する特産品／各種食品販売
郷土料理等の試食
特産ラーメン／地酒
料理研究家 土井善晴 氏による講演
マグロ解体ショー
かさまい鍋／郷土芸能発表等

「食の祭典」

下北半島の
おもてなし

当店自慢の「お膳」募集

このたび下北半島の特色ある食べ物を一同に集め、自慢できる食文化を県内外に積極的に紹介する“冬の下北半島「食の祭典」”を開催するにあたり、食文化の向上と「食の下北半島」のイメージアップになるよう、下北半島へおいでいただいた方々をもてなすためのホテル、旅館等自慢の「お膳」を発表、展示したいと考えております。

つきましては、貴店の「お膳」を発表、展示していただける会員企業を募集いたしますので、是非ご参加くださいますようご案内いたします。

●出品申込
準備の都合上、出品ご希望の場合は、平成14年１月15日（火）までに、当所指導課へご連絡ください。

●その他
なお、本事業はコンテスト、優劣・順位をつけるものではありません。

※お申込み、詳細については、
指導課（ＴＥＬ２２－２２８３）へおたずねください。

PROFILE

土井 善晴（どい・よしはる）
1957年2月8日生まれ
大阪府出身　料理研究家

・ＴＶ、料理雑誌、講演、書籍の執筆、レストランクリエーター、大学・企業・行政指導などで活躍

＜仕事・活動紹介＞

●理　念●
食べる事の大切さ、作ることの楽しさ、食の周辺の美しさ、を多くの人に伝えていきたいと思っています。
日本の風土に一番あった私達の「日本のお料理」を大切に守り続ける責任があると思っています。

●仕事概略●
私の仕事にはふたつの顔があります。
一つは、父土井勝より受け継いだ"家庭料理"や"食生活のあり方"をメディアや講演活動、書籍を通じて、広く伝え続けていくことです。
もう一つは、レストランクリエーターとして、真面目に食を考え共鳴できる多くのクライアントに出会い、和・洋の飲食店の開発開業をまかされ、開業後も開発店の発展的指導を続けていきます。こちらも私にとって重要な仕事であり共通することは、手抜きしないで美味しくて、人が元気になるお料理をつくることです。

●プロデュース●
『特産館ささやま』兵庫県丹波篠山町農協直営レストラン開発(1985)
『蔵部』長野県小布施町　料理サービス・コンセプト開発（1999）
『善光寺西之門よしのや』老舗造り酒屋、味噌蔵の再開発(1995～)
『レストラン　ささゆり』ナイス大原カントリークラブ内（1992～）
『日本料理　櫟（あじいちい）』NTT都市開発経営（1998～）
その他多数

●ＴＶ●
ＴＶ朝日「土井善晴おかずのクッキング」レギュラー出演
新潟ＴＶ２１「いきいきワイド」準レギュラー出演

●料理雑誌、書籍●
ＴＶ朝日出版「土井善晴おかずのクッキング」、
「とっておき！ご飯と汁」「魚が主役の今夜のおかず」
集英社　TANTO　　講談社　ＭＩＮＥ
高橋書店「日本の家庭料理独習書」
晶文社出版「四季の魚料理」
その他多数

●関連ホームページ●
おいしいもの研究所　http://www.sphere.ad.jp/oishinet
週刊おかずのクッキング　http://www.tv-asahi.co.jp/okazu/shutsuen.html

大湊地区会員懇談会を開催

昨年より継続事業となっている「大湊地区会員懇談会」を去る十二月十日、大湊浜町「天作」において開催いたしました。

当日は大湊地区（旭町より以西）の会員二十五名と、商工会議所から鷹架会頭はじめ九名の役職員が出席し、経営上の問題点や同地域の活性化策等について、活発な意見交換が行われました。

道路整備や中心市街地活性化対策事業等に対する要望をはじめ、「海軍まつり」などのイベントに対する提言等、貴重なご意見を多数いただき、大変意義のある懇談会となりました。師走の忙しい時期にもかかわらずご出席いただいた会員の皆様に心からお礼申し上げます。

金融便り

国民生活金融公庫貸付利率

◎普通貸付　５年以内　年 1.85％
５年超　年 1.95％
平成13年12月11日実行分から

◎小企業等経営改善貸付　年 1.55％
（無担保・無保証人㊊制度）　平成13年12月11日実行分から

◎国の教育ローン　年 1.70％

平成13年12月26日現在

LOOK LOOK（ルック ルック）会員さん

No.15　協栄建設（株）

創業以来25年間、地域の皆様に大変お世話になっております。

住宅は高価な財産でありますので、「見積もりはわかりやすく」、「技術は丁寧に」、「引越し後のアフターは敏速に」をモットーに、仕事に取り組んでいます。リフォーム・新築のご用命を宜しくお願いします。

次は《ファミリーマートさとう》さんにバトンタッチです。

協栄建設（株）　代表取締役　小　関　次　政

☆わたしからも一言☆

住宅のお見積もり・プランニングなど、お気軽にお申し付け下さい。

従業員　金浜　美江さん

商工会議所新会員の紹介

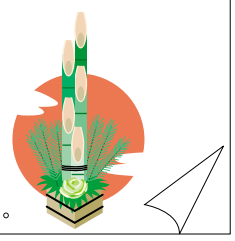
No.	事業所名	代表者名	住所	業種
1	西谷工務店	西谷正男	海老川町20－37	建設業
2	coiffure・toki	土岐千恵子	新町８－19	サービス業
3	中野設備	中野直人	田名部土手内74－1148	建設業
4	サンライズ・イン	葛西尚子	新町17－７	サービス業
5	バイクハウスダート	中西哲夫	金曲２－13－９	小売業
6	斗南クリーン	蝦名秀男	田名部字斗南丘29－332	サービス業
7	（有）オーエス	岡田綾子	奥内字金谷沢１－207	建設業
8	サイネットシステム	佐々木孝昭	下北町５－14	サービス業
9	山本室内	山本謙一	奥内字浜道42－１	建設業
10	陽ほぼっこ	佐々木友子	本町４－28	飲食店

下北地域中小企業支援センター　１月のスケジュール表

日	月	火	水	木	金	土
		1 元旦	2 休み	3 休み	4 伊藤	5 休み
6 休み	7 伊藤・山本	8 伊藤・山本	9 伊藤・山本	10 伊藤・山本	11 伊藤・山本	12 休み
13 伊藤	14 成人の日	15 伊藤・山本	16 伊藤・山本	17 伊藤・山本	18 伊藤・山本	19 休み
20 休み	21 伊藤・山本	22 伊藤・山本	23 伊藤・山本	24 伊藤・山本	25 伊藤・山本	26 休み
27 休み	28 伊藤・山本	29 伊藤・山本	30 伊藤・山本	31 伊藤・山本		

１月の日曜日の窓口相談は　13日です。お待ちしています。

「相談時間」　月～金まで　AM８：30～PM５：00まで
日曜日は　AM９：00～PM４：00まで
確認の上、ご訪問ください。



お知らせ

青い森・地球エネルギーフォーラム開催について

１月17日、18日の両日、下北半島地域を舞台として、世界のエネルギー関係者による標記の国際エネルギーフォーラムが開催される。

これは、地球温暖化など環境問題が深刻化する中で、多様化するエネルギーについて議論を深め、21世紀に我が国及び世界が選択すべき包括的なエネルギー戦略と、その中でエナジーランド（先駆的なエネルギー開発、利用、供給拠点）として下北半島が果たすべき役割について広く世界に問いかけるとともに、多様なエネルギーを地域づくりに活かした先進的なモデル地区の実現を地域住民とともに追求することを目的に開催する。

日　時　平成14年１月17日午後１時から午後６時まで
場　所　下北文化会館大ホール
（尚、18日は六ヶ所村文化交流プラザスワニーで開催）
問合せ　青い森・地球エネルギーフォーラム実行委員会
実行委員長　柏谷　弘陽　電話０１７－７２１－３５３６

企業を守る共済制度　県火災共済の総合火災共済

○割安な掛金で支払は迅速です。
○各金融機関に質権設定ができます。
○剰余金は、利用分量配当として利用者に還元されます。

火災・落雷・破裂、爆発・風災、雪災・物体の落下、衝突・騒じょう、労働争議・水ぬれ・盗難・水災による共済金の他に臨時費用・残存物取り片付け費用等々の臨時費用見舞金がでます。

総合火災共済掛金ー契約額100万円についての年間掛金は下記のとおりです。（単位：円）

構造／目的	住宅物件（専用住宅・家財）			一般物件（店舗・事務所等）		
	鉄骨造	木造モルタル等	木造	鉄骨造	木造モルタル等	木造
建物	890	2,510	2,930	2,060	3,310	3,830
家財	1,030	2,800	3,220	2,160	3,500	4,020
設備・什器等	—	—	—	2,110	3,260	3,780
商品・製品等	—	—	—	2,010	3,120	3,640

※その他、鉄筋コンクリート造等の金額や詳細についてはむつ商工会議所・青森県火災共済（協）まで、お問い合わせ下さい。

その他、各種共済を取り扱っております。○中小企業共済の**自動車事故見舞金共済・生命傷害、労働災害補償共済制度**　○全済団の**自動車共済**（任意保険）

保証の範囲がぐーんとワイドに

青森県火災共済協同組合
青森県中小企業共済協同組合
全国商工共済振興事業団青森支所

申込・お問い合わせ
むつ商工会議所指導課　TEL22－2283
青森県火災共済（協）　TEL017－777－8111